

(27) 海洋生態系におけるラビリンチュラ類の役割の解明～魚類のDHAの起源を探る～

予算

科学研究費助成事業（科学研究費補助金） 基盤研究（B）

概要

海洋に普遍的に生息する原生生物であるラビリンチュラ類は、現存量から海洋生態系の分解者として無視できない影響力を持つことが示唆されている。さらに、生きている珪藻類から効率よく栄養摂取する系統群も発見されており、分解者だけでなく捕食者としての影響力も注目されつつある。また、魚類のDHAは必須脂肪酸であり、食物連鎖を通して供給されていると考えられているが、DHAを生合成できるラビリンチュラ類は魚類のDHAの大本の供給源になっている可能性が示唆されている。本研究は、ラビリンチュラ類の現存量と多様性を精査して、関係する一次生産者や捕食者を解明し、それら間でのエネルギー流量を明らかにすることで、魚類全体への影響力を見極めることを目的とする。弊所は大阪湾での1ヶ月ごとに実施した定点モニタリングの調査協力を行った。

担当者

上田 真由美